

大越中消防クラブが長官表彰を受賞



大越中学校少年消防クラブが3月26日、消防庁長官表彰を受賞しました。表彰式は東京霞が関の総務省講堂で開かれた「青少年フレンドシップ2013」の席上で行われ、生徒会長の橋本航さんが岡崎消防庁長官から盾を受け取りました。大越中消防クラブは全校生徒で編成され、平成17年4月に発足。平成22年度は全国55の「モデル少年消防クラブ」の一つにも選ばれました。

3月27日には田村消防署長、同副署長、同大越分遣所長、大越中の板橋健一校長、生徒会長の橋本航さんが市役所を訪れ、富塚市長に受賞の喜びを報告をしました。

佐藤克夫さんが「旭日単光章」を受章



佐藤克夫さんの高齢者叙勲の伝達式が、3月18日に船引町大倉の自宅で行われました。県中地方振興局の熊本局長から「旭日単光章」の勲章と勲記の伝達が行われ、富塚市長が立ち会いました。

佐藤さんは、昭和54年12月から平成7年11月まで船引町議会議員を務めました。その間、船引町議会文教常任委員会委員長などを歴任し、議会の適正な運営と地方自治の振興に尽くされました。

関本小・常葉中の体育館が完成



関本小の体育館



常葉中の体育館

東日本大震災で被災した関本小と常葉中の体育館の改築工事が終わり、4月3日両校で引き渡し式が行われました。

両校はいずれも壁や床が大きく壊れるなど、国の判定で半壊と認定されました。改築にあたり復旧工法を検討した結果、耐震性を高め、新しく建て直すことで昨年8月から工事を始めました。

関本小体育館は、鉄骨造平屋建で延べ面積599.82㎡、工事費約1億9,092万円。地産地消の考えから内壁に地場産木材を多用し、木のぬくもりを感じられるアリーナにしました。

常葉中体育館は、鉄骨造平屋建で延べ面積979.99㎡、工事費約2億7,018万円。建築場所を従来の場所からグラウンド脇に移し、校舎の2階部分から渡り廊下で行けるようにしました。両体育館ともに以前の不便さを解消するため、バスケットゴールや照明器具の昇降を自動化し、音響についても配慮しました。今後のスポーツ活動の向上が期待されます。



▲施工者から市長へ鍵の引渡し ▲教育長へ鍵の引き継ぎ



天井から照明が自動で下がり、球の交換が簡単になりました

消防団長が会田氏から飛田氏へ



市消防団の団長任命式が4月1日、市役所で行われました。3月31日付で退任した会田眞一前団長(写真右)と、4月1日付で副団長から団長に昇格した飛田充氏(写真左)に富塚市長から辞令が交付されました。会田前団長は通算36年、消防団員として活躍し、平成21年4月からは4年間団長を務め、市民の安心安全のために貢献しました。

新体制となった副団長などは次のとおりです。(敬称略)

- 副団長…大和田積蔵、今泉敏之 ●訓練本部長…鈴木好亀 ●庶務本部長…渡辺慶幸

天然記念物2件を新たに指定



是哉寺の地藏ザクラ



常光寺の大イチョウ

市教育委員会は、船引町芦沢地区の「是哉寺の地藏ザクラ」(推定樹齢約350年)と常葉町常葉地区の「常光寺の大イチョウ」(推定樹齢約300年)を、市天然記念物に指定しました。これで、市指定文化財は114件、天然記念物は28件になりました。